

Love for Hokkaido

公益社団法人北海道倶楽部の役員 会員数合計 483 人
(令和3年3月31日現在)

理 事		評議員
代表理事 会長		1 池田 勝定 (T1インターナショナル(株))
川村 隆 (株)日立製作所名誉会長)		2 植木 康則 (株)十勝毎日新聞社)
業務執行理事 副会長		3 惠本 司 (日本甜菜製糖(株))
大久保 尚武 (積水化学工業(株)名誉顧問)		4 数納 壽
業務執行理事 副会長		5 上條 努 (サッポロホールディングス(株))
小池 明夫 (株)メディアシステムネットワーク 社外取締役)		6 神戸 眞 (北海道放送(株))
代表理事 理事長		7 工藤 常史 (ホッカンホールディングス(株))
村上 隆男 (サッポロホールディングス(株)名誉顧問)		8 栗林 宏吉 (栗林商船(株))
業務執行理事 副理事長		9 小林 巧 (株)北海道新聞社)
佐藤 育男 (株)日本製鋼所 相談役)		10 佐藤 清吾 (株)竹中工務店)
業務執行理事 副理事長		11 佐藤 斉 (北海道電力(株))
鈴木 秀一 (無臭元工業(株) 相談役)		12 佐藤 雅俊 (雪印メグミルク(株))
業務執行理事 副理事長兼常務理事		13 佐野 勝宣 (アップセルテクノロジー(株))
本間 修 (D G(株)代表取締役)		14 柴田 尚 (株)日本製鋼所)
理事 相談役		15 清水 孝 (清水銅鐵(株))
岡村 進		16 末次 省三 (株)毎日新聞社)
監 事		17 鈴木 裕貴 (札幌テレビ放送(株))
五十嵐 紀男 (山田・尾崎法律事務所 弁護士)		18 関 収 (尚友法律事務所)
鑑川 照夫 (鑑川公認会計士事務所 公認会計士)		19 曾我部 康 (エア・ウォーター(株))
相談役		20 高島 英也 (サッポロビール(株))
石井 純二 (株)北洋銀行 取締役会長)		21 立野 嘉之
堀八 義博 (株)北海道銀行 代表取締役会長)		22 千葉 豊喜 (株)大正オーディット)
顧問		23 中田 一男 (株)ドワンゴ)
上野 徹 (日本図書普及(株) 取締役)		24 永田 武彦 (株)北見ハッカ通商)
香西 慧		25 中村 克久 (ナラサキ産業(株))
白本 貞昭 (株)トーモク 社友)		26 成田 和幸 (株)日本ハウスホールディングス)
西尾 啓治 (雪印メグミルク(株) 代表取締役社長)		27 似鳥 昭雄 (株)ニトリホールディングス)
広瀬 兼三 (株)北海道新聞社 代表取締役社長)		28 広部 公聡 (株)北海道銀行)
三國 清三 (株)ソシエテミクニ 代表取締役)		29 福屋 涉 (北海道テレビ放送(株))
宮原 道夫 (森永乳業(株) 代表取締役社長)		30 本多 一夫 (本多劇場)
参 与		31 間瀬 雅晴
佐々木 巖 (株)サニー 代表取締役会長)		32 松本 淳一郎 (NPO法人日本児童文化教育研究所)
中村 喜久男 (株)オカムラ 相談役)		33 三枝 裕昭 (ボッカサッポロフード&ビレッジ(株))
		34 宮原 正宏 (株)北洋銀行)
		35 森田 正好 (岩田地崎建設(株))
		36 八木 秀記 (東京美装興業(株))
		37 山下 敬一 ((公財)北海道在京学生後援会)
		38 山田 裕之 (戸田建設(株))
		39 若杉 一三雄 (北海道文化放送(株))
		40 渡辺 修 (石油資源開発(株))
		41 渡邊 誠司 (地崎道路(株))

公益社団法人 北海道倶楽部
〒100-0014
東京都千代田区永田町2-17-17
北海道東京事務所1階
TEL 03-3581-4021
FAX 03-3581-4022
Mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp



この資料は北海道遺産構想推進協議会「北海道遺産」の下記写真等を使用しています。
・「アイヌ文様」(北海道各地)
・「アイヌ語地名」(北海道各地)
・「ワッカノ小清水原生花園」(常呂町、小清水町)
・「摩周湖」(弟子屈町)

入会、寄附をお願いいたします。
北海道倶楽部の公益事業の趣旨にご賛同いただける方正会員年会費1万5千円、維持会員一口年3万円(北海道情報紙「北海道倶楽部」の購読料含む)詳しくは、HPをご覧ください。

We Love Hokkaido

公益社団法人北海道倶楽部のご紹介



公益社団法人
北海道倶楽部

○北海道倶楽部の事業概要

当倶楽部は、昭和2年新渡戸稲造ら北海道に縁を持つ首都圏在住者を中心に北海道の開発と発展を目的として設立された任意団体「北海道倶楽部」から始まりました。昭和41年に社団法人化し、平成26年1月6日に、公益社団法人に移行しました。

北方領土返還、ふるさと納税等の推進及び北海道新幹線早期実現の3大運動を柱とし、北海道及び北海道内の市町村（関係の団体を含む。以下「北海道等」という。）の健全な発展を目的として下記のような公益事業を行っています。

公益目的事業

北海道及び北海道内の市町村など（地域社会）の健全な発展を目的とする事業

（1）北海道等のための広報活動

・広報誌「北海道NOW」の発行、北海道情報ラックの設置、ホームページなどによる広報活動を行っています。

（2）北海道等が主催・共催・後援する地域活性化事業の支援活動

・北海道等からの要望を取りまとめ、倶楽部が実施しているキャンペーン集会等の場で市町村等の地域活性化に資する事業を支援しています。

・倶楽部の広報誌「北海道NOW」でも関連する記事を掲載し、地域活性化に資する広報事業を行っています。

（3）北方領土返還運動

・北方領土隣接地域振興対策協議会への支援、北方領土ノサップ岬マラソン大会、北方領土返還の各種イベントへの協力を行っています。

・シンボルバッジ「ブラウンリボンバッジ」「千島桜バッジ」「CDちぎれ千島に雲が飛ぶ」等の頒布を行っています。

・キャンペーン集会の開催、「北海道フェア in 代々木」への出展を行っています。

（4）北海道等へのふるさと納税等寄附の推進運動

・ふるさと納税推進のために広報誌及びイベントなどを通しての広報活動を行っています。

（5）北海道新幹線早期実現運動

・「早期実現『新幹線』バッジ」の頒布を行っています。

・キャンペーン集会の開催、「北海道フェア in 代々木」への出展を行っています。

（6）講演会の開催

・当倶楽部の目的と深い関係のあるテーマの講演会等を一般を対象に無料で行っています。

北海道倶楽部のあゆみ

昭和2年 「北海道倶楽部」の創設
（新渡戸稲造などが会員として結成）

昭和23年 戦後、新生「北海道倶楽部」の設立総会
会報「北海道倶楽部」を創刊

昭和37年 北海道人交歓パーティー開催 参加者400人
現在の交流イベント「We Love Hokkaido」

昭和41年 社団法人北海道倶楽部正式認可

昭和42年 北海道倶楽部所有の不動産を処分し北海道 開発庁の職員寮寄付
開道100年と冬季札幌オリンピックにあたり北海道に国際空港を設置運動

昭和43年 北海道倶楽部特別基金募集、北海道東京事務所4階増築整備および開道100年記念事業の費用拠出

昭和44年 北海道勤労青少年センターが発足

昭和46年 旭川国立医科大学の誘致運動展開
真駒内屋外スケート場前に札幌オリンピック・モニュメントを建設、寄贈（雪華の像 本郷新制作）

昭和47年 第1回北海道産業視察ツアーで道内政財界人と交流（平成元年まで14回実施）

昭和52年 珠山被害義捐金街頭募金543万円

平成2年 北海道開発庁40周年で開発功労表彰

平成7年 「北海道開発に関する提言11項目」堀北海道知事へ提出

平成8年 「北海道・ゆめプラン」提言募集 倶楽部は東京事務局として論文募集を担当
ふるさと活性化フォーラム開催
「北海道自然体験学校」開催 倶楽部は東京事務局として参加者募集を担当

平成10年 シンポジウム「北海道を考える」経団連会館で開催

平成11年 北海道の自立をめざす提言書「いま、北を考える」を道知事、北海道開発庁長官に提出

平成12年 有珠山被害義捐金を募金

平成14年 「北海道倶楽部を語る会」を立上げ、倶楽部活性化策などにつき検討

平成15年 台風10号による日高被災者支援募金

平成20年 ふるさと北海道応援大使、大使館活動開始
ふるさと納税キャンペーン開始 公益事業の強化
創設60周年を記念してロゴマーク制作
「ふるさと納税キャンペーン」ギフト制度開始
「北海道情報ラック」開始

平成21年 秋葉原で情報展示イベント
広報紙「北海道Now」増刊号刊行
北海道で提案募集コンテスト開始
「北海道のためにわれわれはなにをすべきか」

平成22年 北方領土返還推進ブラウンリボンバッジ・早期実現新幹線バッジ頒布開始
北方領土返還ノサップ岬マラソン大会協力開始
代々木北海道フェアに出展開始、情報展示イベントCD「ちぎれ千島に雲が飛ぶ」頒布開始

平成23年 1972年札幌五輪「雪華の像」（本郷新）補修

平成24年 ふるさと納税寄附者に感謝状贈呈（交流イベント時）

平成25年 新事務所完成・移転
北方領土返還「千島桜」シンボルバッジ 配布開始

平成26年 公益社団法人移行、寄附のお願い（寄附税制適用）

平成27年 ふるさと納税制度開始から行っていたギフト制度を役割終了のため終了

平成28年 「北海道NOW」に北海道自治体の紹介を連載開始

年間の公益事業・行事など

新年交礼会開催（1月）

北方領土返還推進運動「ブラウンリボンバッジ」キャンペーン
「千島桜」シンボルバッジキャンペーン
「北海道新幹線早期実現」「新幹線バッジ」キャンペーン
「ふるさと納税推進」キャンペーンなどの年初スタートを実施。

「北方領土返還要求全国大会」に参加（2月7日）

交流の夕べを開催（8月4日）

キャンペーン、北海道等の広報を目的とした夏の交流事業を実施。

北海道での交流、講演会等を開催（夏期）

北方領土隣接地域（根室など1市4町）視察・交流、一般参加可（費用自己負担）／「北方領土ノサップ岬マラソン大会」開催協力

交流イベント「We Love Hokkaido」の開催（旧産産の会、10月）

北海道関係者、北海道ファン、一般参加者400名、有料1万円
キャンペーン、公益事業の広報、ふるさと納税感謝、表彰状贈呈などを実施。

講演会、シンポジウムの開催（無料、時期未定）

当倶楽部の公益事業と関連した講演テーマを検討する。一般の参加歓迎（講演テーマ、行政との協調などにより公益性のあるものとし、一般参加を呼びかける。北海道での開催も検討）

代々木北海道フェアへ出展（10月初旬）

代々木公園のイベントスペースに出展
キャンペーン・情報展示のためイベントに参加、情報展示イベントを実施。
情報紙「北海道“NOW”」増刊号11万部発行、代々木中心に全国紙折込（当倶楽部の公益事業、道内情報広報のキャンペーンなど）

情報紙「北海道“NOW”」の発行・配布

倶楽部の事業に係る広報のため、情報紙「北海道“NOW”」本紙・増刊号（年12回）を発行。一般配布（有料 月額80円）有り。

北海道情報ラックに北海道情報を配布（毎月、無料）

ホームページで倶楽部公益事業を広報（適時）

その他
倶楽部内交流の同好会の活動に協力。（独立運営・会計、北星会（ゴルフ）、囲碁会）



「摩周湖」(弟子屈町)